

# 鵬 鷲

HOSAI

「鵬鷲」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近づきたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。

八代経済開発同友会

(通巻第119号)

<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>  
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



## Dream it ! Do it ! 夢を描こう ! 行動しよう !

平成28年度 八代経済開発同友会

第53代 代表幹事 杉本 隆之

八代経済開発同友会の代表幹事をお受けするにあたり、私の問題意識を紹介します。まず、はじめに同友会創立50周年における理念の構築は、同友会存続の危機からの脱却でありました。強い危機意識がなくては、生まれなかったものです。これからの時代、常に、危機感を持ち続けることが経営の大切な要素である、と思います。

さて、八代経済開発同友会は経済人の集まりです。必ず生き残らなければいけません。ゆっくりとした変化の中では危機感を感じにくく、新たな経営戦略策定の必要性を見逃しがちです。しかし、時代の流れは猛スピードで進んでいます。少子高齢化、人口減少社会の中では、進化しなければ生き残れない。危機感がなければ生き残れないと思います。会社経営における理念も変化し、進化しなければいけません。日々の中で新たな価値観を創造し、経営革新を意識的に推し進める必要がある、と考えます。

私たちが暮らす八代市においても、市の経済的、持続的な発展が最重要コンセプトであり、その核は「イノベーション」であると考えています。「Dream it! Do it!」です。「夢を描こう！ 行動しよう！」

さて八代地域には今年、大きなチャンスがあります。

一つは、「八代妙見祭のユネスコ無形文化遺産の登録」です。このチャンスは受け身ではなく、積極的な行動によって、観光客が増加し、消費が増えます。よって、11月22日御夜、23日本番、の2日間だけでなく、363日/365日、「おもてなし」ができる地域

に育っていく必要があります。観光客に満足して頂きリピーターになってもらうことが大切ですし、そこをベースに活動したいと思います。

もう一つのチャンスは「八代港」です。重点港湾として、水深14m、5.5万トンの港として整備され、今後、県の支援によるフルガントリークレーンの整備が予定されており、物流量は年々、確実に増加しています。八代には、自然溢れる豊かな農産物があり、高速道路があり、この港があります。高速道路は、南九州西回り自動車道「津奈木IC」が開通し、あと3年で水俣まで開通します。これらの要素を活かせば、八代は物流基地となる大きなポテンシャルがあります。事実、将来を見越した民間投資も発生し、総合物流企業が物流センターを新設しています。また、大型クルーズ船の来航が現状では10隻程度ですが、港の整備が進めば将来的には60隻も十分に可能と言われています。今後八代は、アジアへ向けて、その存在感を高める活動を展開すべきだと思います。

さらに言うなれば、平成32年までに建設予定の八代市庁舎建て替えも注目に値します。緻密に、しかし大胆な発想をもって取り組んでいただき、八代の未来にとって市街地集約の核となるものとしていただきたい。新市庁舎が先の二つのチャンスによる入り込み人口増加へも活かされる施設となることを期待してやみません。

今年度は、これらをベースとして八代の経済的持続的な発展につながるように、提言をしたいと考えています。このチャンスを活かして、八代の経済成長を作っていくことが八代の経済人としての使命だと思います。一緒に夢に向かって行動しましょう。

# 新入会員の紹介

## 平成28年度 事業計画

### ユネスコ支援委員会

委員長 角 坂 浩 二

私達ユネスコ支援委員会では、八代妙見祭のユネスコ無形文化遺産登録が今年秋に予定されている事を受け、地元八代地域に様々な面でチャンスが訪れたと考えています。

およそ400年に渡り継承されてきたこの祭りには地域の活性化のための色々な仕掛け作りを行い、九州各地から商人や観光客が八代に集まり、九州三大祭と言われる賑わいを見せていました。

しかし、時代の変化によっていろんな問題があったと聞いていますが、その時の苦難を乗り越えて今の時代に至っています。

長年途絶えていた流鏝馬と白幣手が復活し、40種類すべての出し物がすべて揃い、ここ数年は国指定民俗文化財の登録も追い風となり賑わいを戻しつつあります。

このチャンスを八代地域活性化にどう生かせるか、また、地元の皆様喜んで頂けるような仕掛け作りを行っていきます。

また、世界に注目される祭りになりますので、八代神社、各奉納団体、八代市、八代妙見祭保存振興会の方々、そしてなにより八代地域の皆様と連携をしっかりと取りながら夢を描き、行動します。

### 活力ある地域づくり委員会

委員長 有 馬 圭一郎

少子高齢化に伴う人口減少、地域間格差や一極集中への懸念など八代を取り巻く状況は厳しさを増しています。一方、九州新幹線・高速道路などの高速交通網の結節点としての機能に加え、アジアに向けた物流の拠点としての八代港といった九州唯一の特性を持ちながら、八代の地域経済はその利点が活かされていないのが現状です。

そこで今年度、活力ある地域づくり委員会としましては八代都市計画について有識者の講演会や成功事例の研究、行政を巻き込んだ研修会等により会員相互の知識を深めるとともに、今後の地域づくりの起爆剤とすべく市庁舎の建て替えに対しても経済団体として我々の民意を行政に対し提言していきたいと思えます。委員会メンバーの皆さんはもちろんのこと、会員の皆様のご支援をよろしく願います。

### 経営革新委員会

委員長 坂 本 文 仁

八代経済開発同友会の会員企業における経営環境は猛スピードで変化し、消費者ニーズの多様化、価格競争の激化、情報化、国際化の進展等大きく変化しており、消費者のニーズにあった新商品の開発または生産、新サービスの開発または提供等による経営革新は、個々の企業にとって非常に重要なものとなっております。

私たちの委員会では「中小企業新事業活動促進法」(平成11年7月2日施行)などを参考にしながら、会員のすべての企業に新たな価値観を創造し、経営革新を意識的に推し進めていける環境づくりを同友会の中で行ってまいります。

### 共に集い委員会

委員長 綿 田 一 角

- ・会員同士が参加して良かった、楽しかった、また次回も出席したい、といった気持ちで交流できる場を企画、提供していく。
- ・例会や懇親会、委員会活動以外にも会員同士の交流の場を提案し、会員個人の同友会での参加意識、参加意義の向上に努める。
- ・新入会員の勧誘時にオブザーバーとして参加してもらい、会員との交流を通して入会の意志を高められるよう努め、会員拡大への取り組みに貢献する。

#### 【年間活動計画】

- ①会・総会後の懇親会の企画・運営（毎月）
- ②慶寿の会（6月）、忘年会・経友会（12月）などの会員親睦事業の企画・運営

### 共に学び委員会

委員長 塚 本 慎一郎

- ・各委員会と連携し、魅力的な企画で会員の出席率を向上させ、スムーズな運営を行う。
- ・経済開発同友会の発展において、高い出席率の維持は重要なファクターである。28年度は、幹事会で積極的に声掛けを行い、各会員の出席を所属委員長が、担当副代表と連携して取り纏め、例会開催の3日前までに事務局に報告する。

#### 【年間活動計画】

- ①例会・総会の企画運営（毎月）
- ②事業について

### 情報発信委員会

委員長 三 枝 崎 能 久

最近では首相官邸においてもFacebook・LINE等のSNSを利用した情報発信も行っており、政府広報の重要な一角になりつつあるようです。

現在、当会の情報を対外に発信するメディアは、広報誌・ホームページ・Facebookです。本年もこれらのツールを駆使しながら当会活動の発信を行って行きますが同時に、当会活動に関する情報とその収集並びに発信に即した効果的なスタイルも検討したいと思えます。

一年間どうぞ宜しくお願い致します。

#### 【年間活動計画】

- ①広報誌(年間3回発行)（4月末・11月末・3月末）
- ②ホームページ・Facebook 随時更新
- ③効果的な情報収集・発信のための方策の検討（現状とニーズと問題点の整理）



清水 孝洋 会員 50歳

平成27年12月2日入会承認  
大熊本証券(株)八代支店 支店長  
趣味 釣り、ラグビー  
音楽鑑賞(ロックミュージック)



早田 敏男 会員 48歳

平成28年1月29日入会承認  
第一プロパン株式会社 営業課長  
趣味 バスケットボール、ジョギング



山口 敬司 会員 42歳

平成28年3月12日入会承認  
株式会社ファミリー総合保険  
代表取締役  
趣味 釣り、ゴルフ

入会をご希望の方は  
**(32) 5 6 2 0** までお問い合わせください。

八代経済開発同友会は昭和38年の発足からこれまでの長きにわたり、八代市の経済・産業の振興はもとより、活力ある地域社会の実現に向けて活動をしており、また会員が企業を成長させ、理念を進化させ、地域に必要な企業となるべく、その価値観を持つ者の集う場に是非ご参加下さい。

### 熊本経済同友会 2月例会レポート

専務理事 田 邊 裕 之

平成28年2月25日、内閣審議官菊地和博氏による「地方創生への取組みについて」を聴講してきました。

前提としての人口減少について、自然増減（出生と死亡）は各国共通であるが、社会増減（地域間の移動）は日本特有のものであるという説明がありました。その背景は都市圏における仕事と教育への期待です。

「まち・ひと・しごと創生」に対する現在の政府認識は、「仕事」が「人」を呼び「人」が「仕事」を呼び込む相互の好循環が街を活性する、という捉え方をしているとのこと。

政府は現在、2060年を目処に「長期ビジョン」として「総合戦略」を策定していますが、これからは、状況を分析しながら毎年改訂していくことになったそうです。

我々は時代の変化や最新の情報をいち早く取り入れるために「まち・ひと・しごと創生本部（リーサスを含む）」をはじめ、行政機関（国・県・市）のビジョンや施策を常に確認しておくことが肝要になると考えます。

講演が終了した後、審議官との立ち話のなか、人口15万位の町では、郊外への町形成が進んでいる状況下、意見の集約と街のコンパクト化が難しいと思うが、これについて意見を伺いたい、と訊ねたところ、それは地域が危機感をどれだけ共有できるかではないか、という回答でした。経済団体として、行政機関との連携を密にし、時には声を大にして行政側に対し軌道修正を求めることも必要になると思量します。

最後に同友会会員がデータを凌駕する経営を思考し、真剣に百年企業を目指すことが、これからの八代地域に活力を与えるものに違いなく、それが同友会理念の達成であるとし、報告に代えます。





# 宮古島視察報告

2016年2月25日～27日

目的 2015年1月に開通した宮古島ー伊良部島間3,540mの長大橋、伊良部大橋の現場視察と建設までの経緯調査

## 視察内容

熊本空港より那覇経由、宮古島着。レンタカーにて伊良部大橋を目指す。宮古島は周囲約100km、人口は5万人を数える。一方の伊良部島は外周26km、人口は6300人。

施設として橋でつながっている下地島に民間のパイロットの訓練に使用された空港を有している。

その下地島の人口はわずか48人。従って典型的な過疎の島間の架橋と言える。

取り敢えず島の一番高い所にある牧山展望台を目指す。渡り鳥のサンバをかたどった巨大な展望台。強風の中、橋の形状やコースを確認する。橋はコンクリート製で中央部が高くなり船の航行に邪魔にならないよう出来ている。水深はサンゴ礁の浅く、中央部以外は5-10mくらいと見受けられた。

夕刻7時より元伊良部町役場企画室長の仲間明典氏をお招きし約1時間懇談。氏によると

### ①昭和49年より架橋要請活動開始

その後の開通に至るまでの経過は別紙資料の通りであるが、この間自分なりに努力してきたものは

②沖縄開発庁関係者の送迎の際には子供達を動員。日の丸の小旗と橋の必要性を訴えて関係者の関心を誘った。

③橋の基礎調査を初めとする各種調査には丁度竣工して仕事がなくなった本四架橋の関係者をスカウトして彼等の長大橋建設に対するノウハウを

活用した。

④町の担当者は仲間氏を軸に有能な助手を一人つけた

⑤国の開発計画に橋の必要性を盛り込むべく、国会議員、特に下地 幹郎議員を中心に国に積極的に働き掛けた

⑥沖縄県をその気にさせるべく県議会にも働き掛けた

⑦いよいよ着工となると漁業補償に火が付き難航した。これには各地区の漁業協同組合を相手に利害調整を行った

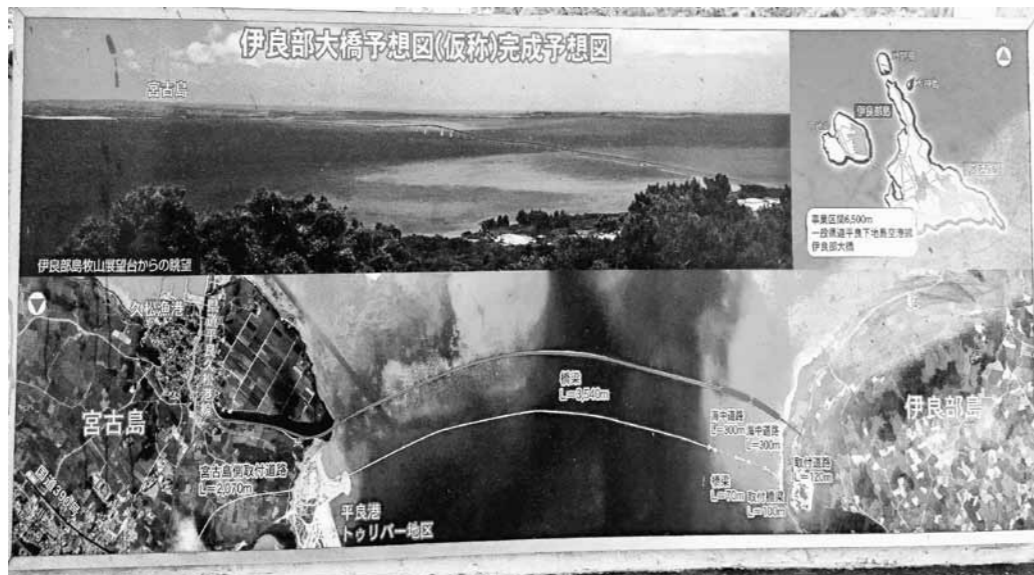
⑧橋の建設は基本的なものは三菱重工が本土で組み立てて巨大クレーンで運んで来たが簡単な工事は地元の業者が担当した。それ故それなりの経済効果はあったものと思う。

⑨現在トライアスロン競技のメッカとなったり観光振興には一役買っているものと思う

⑩下地島にはシュミレーターが導入されるまで民間の航空会社のパイロットの訓練飛行場として使用されていた下地島空港がある。今後この空港を自衛隊機の平和目的の発着飛行場として使用し、更にはそこに航空大学校も設立したい

## 印象

仲間氏の報告によれば沖縄振興法の存在が大きかった事は確かだが、地元の努力も見逃せない。町役場、沖縄県、国の関係者が軸になり、市民も一体になった活動で42年間かかって夢を実現させている。総工費の90%は国で残りを地元の自治体が負担という構造だったらしい。氏の発言の中にはPFIとかPPPに関するものは全



く無かった。この方面での利用は法的整備もこれからの段階で、現時点では議論する余地がなかったものと思われる。

八代ー天草架橋の現実はこちらに比べるとまだまだ国・県・市の各々の連携が足りないと言わざるを得ない。伊良部大橋に見られた地域間の意識のずれも我々の地域でも大きいと言える。有り体に言って天草の上下の島の間にもあり、更には上島の松島町と大矢野町の間にも微妙なずれがある。その上に天草と八代の間にも意識のずれがなしとはしない。このような複雑な意識のずれのパズルを解いていかなば行政のまともにも期待できない。今後この問題をどのように解きほぐしていくべきか大いに議論すべきと思う。

資金調達の方法も伊良部大橋のように行政頼みの時代から徐々に民間資金の活用方式に今後はスライドして行くことが予想される。これに関しては今後の法的整備の状況を地元の金融機関等から情報収集して行きながら検討していかなければならないが、その前に上記意識のすり合わせが絶対に必要である。

橋が実現すれば経済的な効果は大きいと思われる。現に宮古島でも8年ぶりに今まで中止になっていた関空ー宮古島直行便が今年開設され、昨年羽田ー宮古島間の直行便も開設されている。島は観光客で湧いている。5万の人口の島に10倍以上の観光客が押し寄せているのではなかる



うか。このきっかけは伊良部大橋の開通が一番大きな力となっている。

現に我々の視察中にも26日、前浜ビーチでリオ五輪の代表候補も交えてのトライアスロンの実戦形式での練習風景にも巡り合った。30人以上の若者が参加しており、サポートの人々も何人か本土から来ていた。観光パンフには求人広告が数ページ割かれており、本土からの若者の受け入れ先としても名乗りを上げていた。2月という季節はこの島にとっては観光オフシーズンであるが、それでも多くの観光客が押し掛けていた。往復の航空機も満席状態であった事が、この事を裏付けている。

施設やインフラ整備の点ではまだまだの所も多いが、今後航空網が発達し各地からの直行便が増えてくれば観光地としての魅力は全国区に十分なれる素地を有していると思われる。LCの航空会社も那覇経由ではあるが虎視眈々とこの地域を狙っている。

仲間氏とは色々な話題が出たが最後の氏の言「どうせもらった命だもの。命をかけてやっていく」に南国らしい大らかさと決心のほどがうかがえて実に有意義な意見交換会であった。

文責 眞木誠司

参加者：眞木誠司・伊藤輝充・杉本隆之・吉住一郎・鋤馬把祥二・鳥巢 勉・坂本文仁・角坂浩二・三枝崎能久



伊良部大橋 八代天草架橋イメージ図

# 同友会会員企業名

(71社)

氏名	会社名	会社電話番号	氏名	会社名	会社電話番号
有馬圭一郎	(有)まもるほけん	35-4593	中川 静也	学校法人 八商学園 中九州短期大学	33-5134
伊藤 輝充	(有)あたらし屋旅館	38-0213	中野 進夫	(株)八代角丸商店	37-1813
上田 定宗	有限会社 上田電気商会	32-5261	中村 重之	(有)ダイナックス	34-9277
上原 治	上原税理士事務所	33-2106	中山 英朗	(株)中山建設	33-5047
内田 晴也	(株)カーライフ (有)内田自動車工業	33-2355	長鋤 弘樹	(株)Passion	32-5509
大西 浩司	熊本中央信用金庫 八代支店	34-0211	西田 幸広	弁護士法人 Si-Law	62-8582
大野 泰弘	料亭 新歌扇	32-3800	西田 眞實	(有)にしだ	34-1534
緒方 光治	(有)緒方印刷所	32-3117	橋口 弘	(有)橋口商店	32-3055
岡本 能幸	太陽開発(株)	31-0558	濱 孝治	(有)浜商店・お茶の濱大松園	33-5163
尾坂 大介	松木運輸(株)	37-3145	早田 敏男	第一プロバン(株)	34-3583
小笹 康博	(株)小笹建設	32-7410	平山 浩子	(有)OFFICE メセナ	32-7123
川嶋 一敏	NTT西日本 八代支店	34-6000	福水 正美	東京海上日動火災保険(株)	35-3211
神園喜八郎	(有)神園交通	32-2121	藤浦 純也	株式会社 藤浦本店	32-2161
小早川宗弘	コム・スペース(株)	35-0888	湊田 義昭	(有)葵	32-4418
小林 緑郎	宗教法人 八代神社	32-5350	古城 一久	(株)藤永組	33-3167
小嶺 俊英	(株)エフイーティーシステム セレクトロイヤル八代	34-1111	松岡 隆志	(株)ゼロワン	31-1101
坂本 文仁	(株)坂本食糧	53-9211	松嶋 祐治	(株)松島建設	33-1941
佐々川 誠	(有)エンゼル	43-1110	三枝崎一丸	(有)なにわ	32-8145
里 順一	(株)フリーライフボックス	45-9868	三枝崎能久	(株)スタジオ カツミ	33-1618
穴倉 渉	穴倉渉税理士事務所	33-3521	宮崎 哲也	クギヤ印刷(株)	34-2031
嶋尾 禎	熊本銀行 八代支店	33-3521	村田眞一郎	有限会社 まこと商会	37-1371
清水 孝洋	大熊本証券(株) 八代支店	35-8484	守田 憲行	(株)出雲総業	33-0551
下田 和利	(有)下田青果生花部ぺんぎんや	34-2169	盛高 経博	盛高鍛冶刃物株式会社	32-4643
杉本 隆之	杉本園製茶(株)	32-3316	山口 敬司	(株)ファミリー総合保険	39-7595
鋤馬把祥二	熊日新聞西部販売(株)	34-5151	横林 宏志	(有)八代中央整備工場	34-7590
竹永 淳一	(株)通信館	33-9300	吉川 昭五	昭和工業(株)	33-4669
田島 幹雄	八代地域農業協同組合	35-3333	吉住 一郎	吉住酸素工業(株)	33-1105
田邊 裕之	資産総合鑑定	33-5411	吉武 卓哉	メディア(株)	33-4837
塚本慎一郎	(有)塚本建設	37-0201	吉村 末彦	看板のヨシムラ	37-1583
續 協典	(有)続プロパンガス商会	34-7473	要名本義博	八代ドライビングスクール	32-8135
角坂 浩二	角坂設備(株)	33-2038	頼藤 浩	(有)頼藤商店	33-1145
徳澄八生喜	(有)徳澄塗装	34-8535	和久田 彰	プラスワン美容室	33-0190
徳淵 徹	熊本第一信用金庫 八代支店	31-6211	和久田数臣	和久田建設(株)	32-5171
飛石 幸弥	八代グランドホテル	32-2111	綿田 一角	(株)八代美研	35-3785
鳥巢 勉	肥後銀行 八代支店	32-3171	続 保廣	(有)続プロパンガス商会	34-7473
豊田 実	(株)不知火建設	32-3384			

## 熊本震災のお見舞い

熊本地震により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。